

2007年度広島市当初予算案

市長選を控え、義務的経費中心の骨格予算

県の3福祉事業補助削減に対し、
市は事業継続を表明
3面参照

国の「地方切り捨て」「相次ぐ負担増」で 自治体の役割ますます問われる

2007年度広島市当初予算案は、市長の任期満了(2月22日)に伴う市長選挙が4月8日投開票(市議選挙も同日)となったため、政策的経費は新市長に委ねるという前提のもとでの「義務的経費※」中心の骨格予算となっています。一般会計は約5,242億円で対前年度約139億円(2.6%)減。特別会計、企業会計を合わせた全会計も約1兆1,475億円で同約96億円(0.8%)減。一般会計、全会計いずれも2年連続プラス予算からマイナス予算に転じています。

※扶助費、人件費、公債費(借金返済)など支出が一定決まっている経費

歳入

個人市民税は、国から地方への税源移譲と定率減税の廃止により、対前年度約118億円(約20%)増の約713億円が見込まれ、定率減税が半減された06年度(約51億円の増収見込)を大きく上回る大幅増収=市民税増税となります。

税源移譲による県・市民税の負担増分は所得税を減税して調整することになっていますが、市民税が上がれば国保料も連動して上がるため、市民生活への影響が心配されます。(4面参照)

地方交付税は、臨時財政対策債※を含めて実質対前年度40億円(6.8%)減の545億円。国の三位一体改革による地方交付税削減の影響を引き続きうけています。

市債は、対前年度約110億円(21.3%)減の約408億円(臨時財政対策債115億円含む)。実質残高は07年度末で約7,670億円を見込み、06年度末よりも約180億円減らすとしています。

また、**財政調整基金**を13億円(06年度当初予算31億円)取り崩して一般財源不足を補い、基金の07年度末残高を約104億円としています。

※臨時財政対策債
地方交付税を配分するための国の財源が不足しているため、その不足分を地方が臨時財政対策債(借金)で肩代わりし、その返済額を国が後から地方交付税に上乗せしています。

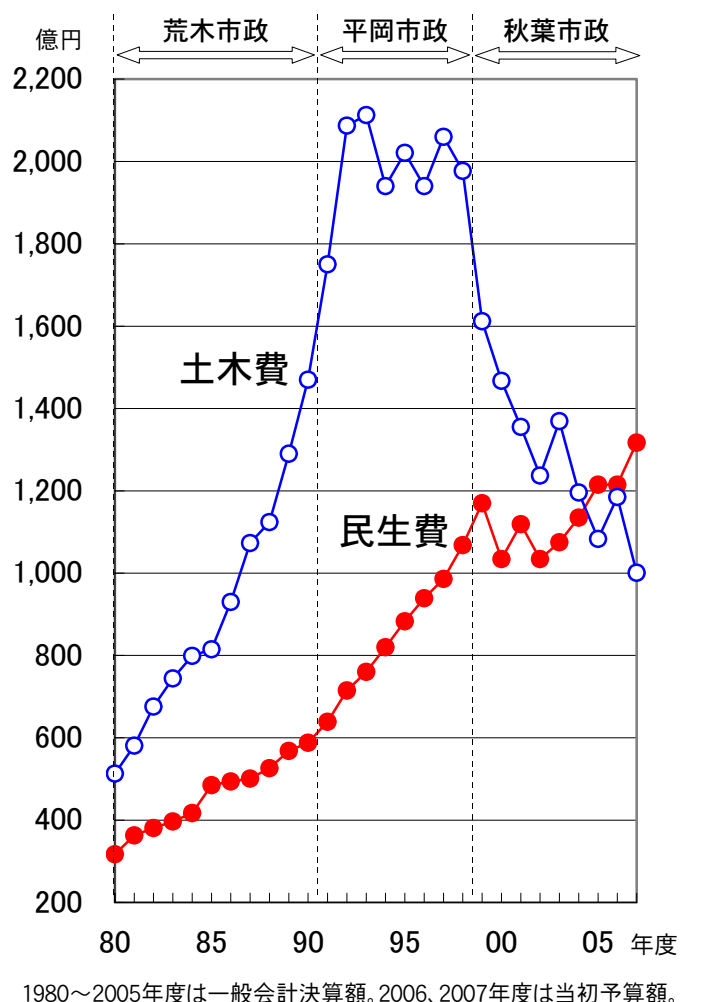
歳出

06年度当初予算では**民生費**と**土木費**は拮抗していましたが、今回は義務的経費中心の骨格予算ということもあり、その差が大きくなっています。

民生費 約1,317億円 対前年度 約102億円(8.4%)増
土木費 約1,000億円 対前年度 約184億円(15.6%)減

第二次財政健全化計画(04~07年度)に沿って**事務事業の見直し**が進められ、この間、約600件、総額約28億円の事務事業を縮小・廃止。福祉施策も容赦なく「見直し」されてきました。07年度も学校の機械警備仕様見直しや議員定数削減による政務調査費の削減など110件、約3億円の見直しが盛り込まれています。(2面参照)

新規事業は14に抑えられ、その中には障害者自立支援法のもとでの利用者負担を軽減する国の特別対策といった生活支援型のものがある一方、国による生活保護行政切り捨ての具体化の一つである要保護世帯向け長期貸付(リバースモーゲージ)に関する事業も含まれています。



1980~2005年度は一般会計決算額。2006、2007年度は当初予算額。

国の三位一体改革

広島市への影響

04~06年度で **200億円超の歳入減**

国の「三位一体改革」(地方交付税の削減、国庫補助負担金の削減、地方への税源移譲)は、地方財政に非常に深刻な影響を与えています。

広島市も04~06年度で地方交付税が約210億円減、補助金も約70億円減、税源移譲は約74億円にとどまったため、差引206億円の歳入減となっています。

自民・公明政権による地方切り捨て政策に対し、地方から抗議の声をあげるときです。

身近な公共事業

生活密着型の公共事業予算 2割分は新市長の判断に委ねる

生活道路や公民館など公共施設の小規模整備は、中小企業の仕事おこしにもなる必要な「投資的経費」です。

財政健全化計画に基づき、投資的経費の全体額は大幅削減となっていますが、秋葉市政2期目では小規模整備予算は概ね110億円規模で維持されてきました(06年度当初予算約113億円)。

今回の骨格予算では、小規模整備予算は06年度水準の8割相当(約90億円)が計上され、残り2割相当を予算計上するかどうかは新市長の判断に委ねられています。

市債や国庫補助金に大きく依存する大型公共事業と違い、小規模整備の財源は大半が一般財源(市の裁量で使える財源)です。新市長が小規模整備予算の残り2割分を6月補正で計上するかどうかが注目されます。

*

広島市の市営住宅は、他都市と比べても戸数が少なく、入居を希望してもなかなか入れない状況が続いていますが、この事態を解消するための増戸計画は依然としてありません。



戸数を増やさないのであれば、既存住宅改善や空家修繕の予算を大幅に増やす必要がありますが、今回の骨格予算では市営住宅整備予算は前年度水準にとどまっています。

建物の老朽化と入居者の高齢化が深刻な問題となっており、建て替えも含めた抜本的な対策が求められます。

市営住宅整備 23億2,380万円(7,234万円減)

既設住宅改善 17億9,800万円(930万円減)

空家修繕その他補修 5億2,580万円(103万円減)

安佐南区地域福祉センター建設 12億2,056万円

古市児童館、保健センターなど合築。08年度開設予定

主要生活道路の整備 41億7,540万円(23億6,540万円減)

交通安全施設の整備 6億319万円(11億1,341万円減)

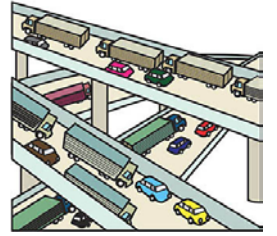
防犯灯の設置 90万円(800万円減)

大型公共事業

高速道路は全体で85億円 広島駅周辺開発は17億円計上

予算規模で最も大きいのは段原再開発事業で、06年度に引き続き100億円近く計上されています。

高速道路には全体で85億円が計上され、不要不急で採算性のない高速5号線も対前年度13億円増の25億円超。1メートルあたり5,400万円もかかる矢賀大洲線(関連道路)にも約18億円が計上されています。



国施行道路整備事業負担金には前年度並みの約53億円が計上され、これまで同様、「聖域」扱いとなっています。

広島駅周辺開発では若草町の再開発に約17億円、新球場建設には1億円余りを計上。出島廃棄物埋立護岸(前年度10億円)など港湾整備予算の計上は見送られています。

段原再開発事業 94億5,020万円(12億752万円減)

東部地区土地区画整理、住宅市街地総合整備

高速道路 85億円(21億1,400万円減)

有料道路事業 65億5,000万円(2億3,000万円増)

高速1号線 ETC設置工事等 7,500万円

高速2号線 高架橋上・下部工事等 25億5,000万円

高速3号線 高架橋上・下部工事等 12億8,750万円

高速4号線 ETC設置工事等 8,750万円

高速5号線 用地取得等 25億5,000万円(13億円増)

関連公共事業 19億5,000万円(23億4,400万円減)

矢賀大洲線 JR立体交差部工事 17億9,800万円

広島南道路 2期用地取得 1億3,100万円

温品二葉の里線 用地取得 2,100万円

国施行道路整備事業負担金 52億7,700万円(2,300万円減)

広島駅周辺開発 16億9,830万円

新幹線口・若草町地区市街地再開発 16億9,760万円

南口・Bブロック再開発推進の指導等 70万円

新球場建設の推進 1億4,444万円(50億7,064万円減)

球場実施設計 1億3,800万円

これまでに実施されてきた「歳出削減・歳入確保」

	① 2007年度予算案	② 2006年度実施分	2005年度実施分	2004年度実施分	前年度比(①-②)
歳出削減(削減額)	26億290万円	35億7,249万円	42億7,743万円	56億8,582万円	▲9億6,959万円
事務事業の見直し	(110件) 3億864万円	(121件) 4億1,203万円	(200件) 7億7,181万円	(266件) 16億3,356万円	▲1億339万円
補助事業評価による見直し	(7件) 1,012万円	(16件) 9,096万円	(22件) 5,947万円	(111件) 1億1,532万円	▲8,084万円
内部管理経費等の削減	6億506万円	8億7,346万円	11億5,188万円	21億7,195万円	▲2億6,840万円
給料の減額措置	8億6,481万円	19億6,122万円	19億6,517万円	16億1,021万円	▲10億9,641万円
地域手当の見直し	7億2,004万円	—	—	—	7億2,004万円
特殊勤務手当の見直し	2,809万円	6,653万円	—	—	▲3,844万円
議員定数削減による報酬減	6,615万円	—	—	—	6,615万円
退職手当の見直し	—	—	2億7,016万円	1億5,478万円	—
職員互助会助成金の見直し	—	1億6,829万円	5,894万円	—	▲1億6,829万円
使用料・手数料(増収見込額)	4792万円	2億8,746万円	4億4,935万円	27億7,274万円	▲2億3954万円
削減額+増収見込額の合計	26億5082万円	38億5,995万円	47億2,678万円	84億5,856万円	▲12億913万円

3福祉事業

県が補助金削減を打ち出すなか 市は補助事業継続を表明

広島県は、財政健全化策として広島市への3福祉事業（重度心身障害者医療費補助、ひとり親家庭医療費補助、乳幼児医療費補助）の補助金削減を打ち出し（2010年度に全廃）、07年度当初予算案では既に補助率を引き下げています。



これに対し、広島市は「他の政令市と県の間でこんなケースはない」と反発し、今回の骨格予算では従来どおりの県補助金を歳入に見越しています。

県が補助率を引き下げた場合、従来どおり補助事業を継続するには07年度で市負担が約5億1,383万円（市試算）増え、財源のやりくりを強いられますが、市は07年度も同様の補助事業を継続する考えを示しています。

県民税500円増やして補助金削減!? 県のやり方は許せません

広島市民も県民税を払っています。しかも、広島県は07年度から「ひろしまの森づくり県民税」を導入し、県民税の均等割（現行年額1,000円）に500円を加算します。

市民負担を増やす一方で、「財政健全化」と称して3福祉事業への補助金を削減しようとする広島県のやり方は許せません。

新たな施設

福祉・教育関連施設を中心に 8施設が供用開始

今年4月、待ち望まれていた第三の原爆特別養護老人ホーム「矢野おりづる園」（安芸区）がオープン。

安佐南区では、中筋小学校のマンモス化の解消となる東野小学校が開校しますが、給食（自校調理方式）の調理業務の民間委託もとりざたされています。また、同区では山本まごころ保育園（民間公募）が開園します。

また、今回の骨格予算には、来年3月オープンをめざす総合リハビリテーションセンターに54億円、安佐南区・伴中学校の分離新設となる伴第二中学校（来年4月開校）に約26億円、西区に予定される保育園（民間公募）に1億400万円が計上されています。

施設名	開設時期	事業費
佐東公民館（増築）	07年8月	2億9,000万円
総合リハビリテーションセンター	08年3月	94億2,600万円
山本まごころ保育園	07年4月	1億4,700万円
原爆養護ホーム矢野おりづる園	07年4月	11億9,200万円
三国市民農園	07年8月	500万円
段原山崎住宅	07年6月	2億6,100万円
東野小学校	07年4月	17億6,000万円
広島市民病院立体駐車場	08年1月	3億4,900万円

07年度から供用開始する施設等

障害児・者 国の特別対策で負担軽減措置拡大

国が障害者自立支援法の特別対策（06～08年度の3か年）として、利用者負担上限額（月額）を2分の1から4分の1に引き下げるなどの措置をとったことによる予算が計上されています。これは、障害者団体の運動の高まりや、日本共産党の改善要求などをうけたものです。

この特別対策により、在宅・通所サービスの利用者負担軽減措置の対象範囲が拡大。これと連動して市の補装具利用者負担助成の対象も同様に拡大され、障害児の一部が同助成を使えるようになります。

新 実 障害者自立支援法の国の特別対策 4億3,555万円

利用者負担の軽減 2億1,086万円

事業者に対する激変緩和措置 7,713万円

新法への移行のための緊急経過措置 1億4,754万円

在宅・通所サービスの利用者負担上限月額引き下げ

区分		従来の国基準	07・08年度の国基準
市民税非課税	低所得1（年間収入80万円以下）	15,000円	3,750円
	低所得2（年間収入80万円超）	24,600円	6,150円 （通所は3,750円）
市民税課税	市民税所得割10万円未満 ※	37,200円	9,300円

※対象範囲が従来の「所得税非課税相当」から拡大されています。

その他 生活保護費の抑制ねらう新事業も

学校屋内運動場耐震化対策

小学校耐震補強工事実施設計4校 590万円

中学校耐震補強工事実施設計5校など 870万円

「ひろしま型カリキュラム」の導入 1,726万円

小5からの「言語・数理運用科」「英語科」等導入の実践研究

新 理科支援員等配置事業 1,856万円

小5・6の学級に理科支援員等を配置

拡 児童手当（07年4月～）90億3,861万円

3歳未満の第1子、第2子について月額5,000円を10,000円に増額（増額分約12億円）



新 要保護世帯向け長期生活支援資金貸付 3,100万円

要保護者の自宅を担保に生活費を貸し付け、死亡後に自宅を売却して返済にあてる「リバースモーゲージ」の具体化。生活保護費の抑制を目的とした国の施策。

広島県後期高齢者医療広域連合への負担金 約2億円

議員定数削減による予算への影響は？

「経費削減」を目的に、保守会派が強行した議員定数削減（5人減）による新年度予算案への影響は、総額8,772万円ほどです。

報酬、期末手当 6,615万円減

費用弁償、視察旅費など 287万円減

政務調査費 1,870万円減（5人×月額34万円×11か月）

増税分は所得税の減税で相殺

市民税

所得割が06年度の4倍に

国から地方への税源移譲により、市民税の所得割税率は現行3%、8%、10%の3段階が、07年度分から所得区分なく6%の一律税率となります。また、県民税も同2%、3%の2段階が4%に一本化されます(下表参照)。

これにより、課税総所得金額が200万円以下の人は、これまで3%だった市民税の所得割税率が6%へと2倍となり、県民税も同2%が4%に2倍となります。

これら住民税の増額分(県・市民税合わせて5%⇒10%)は、所得税の税率引き下げ(10%⇒5%)で相殺されることになっています。

所得税非課税世帯は住民税を減額

住民税と所得税の人的控除額(基礎控除、扶養控除など)の差により、住民税は課税されるが所得税は非課税となる所得層が生じます。

この所得層は、住民税の増額分を所得税で相殺することができないので、住民税の減額措置が講じられます。

税源移譲による負担増は、前述したように基本的には生じないとされています。

ところが、65歳以上で合計所得金額(公的年金等控除を差し引いた額)が125万円以下で、05年度まで「住民税非課税措置」をうけていた人には大きな問題が生じます。

この対象者については、非課税措置廃止の特例(激変緩和措置)として、06年度は本来課税額の3分の1を徴収、07年度は3分の2、08年度から全額を徴収することになっています。したがって、年金収入が変わらなくても、07年度の住民税が06年度の2倍になります。

さらに、今回の税源移譲で住民税の所得割税率が2倍となり、本来課税額(所得割)が2倍となるため、特例のしくみと合わさって、07年度の住民税所得割額が06年度の4倍(2倍×2倍)になります(下枠参照)。

軽減措置なく今後の市の対応が問われる問題

この問題については、今のところ軽減措置が考えられていません。今後、市として国に軽減措置を求めるとともに、市独自の支援策を検討する必要があります。

税源移譲に伴う県・市民税の所得割税率変更 (07年度分から改定)

	課税総所得金額	市民税	県民税	計
現行	200万円以下	3%	2%	5%
	200万円超 700万円以下	8%		10%
	700万円超	10%	3%	13%
改定	所得区分なく一律税率	6%	4%	10%

※均等割の変更はありません。(市民税3,000円、県民税1,000円)

「非課税措置廃止の特例」の対象者の住民税所得割税率

$$06\text{年度税率} = (\text{所得割本来税率 } 5\%) \times (\text{自己負担率 } 1/3) = \frac{5}{3}\%$$

$$07\text{年度税率} = (\text{所得割本来税率 } 10\%) \times (\text{自己負担率 } 2/3) = \frac{20}{3}\%$$

$$08\text{年度税率} = (\text{所得割本来税率 } 10\%) \times (\text{自己負担率 } 3/3) = \frac{30}{3}\%$$

※所得割本来税率は県・市民税の合計税率

国保料

様々な要因が国保料に影響

所得が低い高齢者の負担増は深刻

市民税所得割税率のアップ

広島市の国保料所得割は、市民税所得割額を算定基礎にしています(右枠参照)。そのため、税源移譲による市民税所得割税率アップで市民税所得割額が増えることは、国保料を引き上げる要因となります。

また、住民税の「非課税措置廃止の特例」をうけている高齢者の場合、市民税所得割税率が06年度は1%だったものが07年度には4%に跳ね上がる(※)ため、国保料所得割への影響がとりわけ大きくなります。

※国保料所得割を計算するときの掛率は、加入者の市民税所得割額の総額が増えれば「小さく」なります。税源移譲の影響で07年度の掛率は06年度より小さくなるので、市民税所得割税率が4倍になっても、国保料所得割が4倍になるわけではありません。

定率減税の廃止

06年度は住民税が7.5%分減税されていましたが、07年度からは定率減税は全廃(=増税)されます。この定率減税の廃止による市民税所得割額のアップも、国保料所得割を引き上げる要因となります。

広島市の国保料所得割の計算方法(06年度の場合)

$$\text{医療分} = 06\text{年度市民税所得割額} \times (428/100)$$

$$\text{介護分} = 06\text{年度市民税所得割額} \times (116/100)$$

※07年度の掛率は07年度になってから決定されます。

※介護分は40歳以上65歳未満の人が対象です。

日本共産党広島市議団は予算議会で、低所得層、とりわけ高齢者の市民税増税・国保料アップに対する軽減策を市当局に強く求めます。